

国語

1年	現代の国語
1年	言語文化
2年	論理国語
2年	古典探求
2年	国語力養成講座
2年	文章読解演習
3年	現代文B
3年	古典B
3年	国語表現
3年	国語演習
3年	受験国語
3年	総合型対策・国語
3年	文学鑑賞
3年	日本語と表現
3年	実用国語

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	植木智
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材	いづな「意味で教える漢字トレーニング」 浜島「論読現代文1」「常用国語便覧」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「目指す世界の地図を作る」 ・評論「時間とは何か」 ・評論「地球を旅する水の話」 ・「論読現代文1」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。※文章の読み方など中学校の復習も行う ・時間の捉え方や水の循環（東野SDGsとの関連）という身近なテーマを通し思考力を養う。 			
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「水の東西」 ・評論「里山物語」 ・「文章構造を理解する・要約する・比較する・意見文を書く」 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。 ・人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握し、「里山」の意味を考える（東野SDGsとの関連）。 			
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「世間話はなぜするのか」 ・評論「語感トレーニング」 ・「スピーチ・ディベート」 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を理解し、世間話や挨拶の意味を考える。 ・日本語の変遷を知り、現代日本語の特性を理解する。 ・自身の考えを他者にわかりやすく伝え、発表や表現の力を養う。 			
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「コインは円形か」 ・評論「科学と非科学」 ・「論読現代文1」 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。 ・「科学」と「非科学」との違いを理解し、「科学的な姿勢」について考える。 			
3 学 期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「『差』という情報」 ・評論「『わらしべ長者』の経済学」 ・「討議・プレゼンテーション」 ・「論読現代文1」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「差」という観点から展開される筆者の思考を読み取る。 ・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。 <p>※夏期・冬期休業中には課題あり。</p> <p>※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。</p>			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	植木智
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材	いっずな「意味で教える漢字トレーニング」 浜島「論読現代文1」「常用国語便覧」		
授業のねらい	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	中間	・評論「目指す世界の地図を作る」 ・評論「時間とは何か」 ・評論「地球を旅する水の話」 ・「論読現代文1」	・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。※文章の読み方など中学校の復習も行う ・時間の捉え方や水の循環（東野SDGsとの関連）という身近なテーマを通し思考力を養う。			
	期末	・評論「水の東西」 ・評論「里山物語」 ・「文章構造を理解する・要約する・比較する・意見文を書く」	・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。 ・人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握し、「里山」の意味を考える（東野SDGsとの関連）。			
2 学 期	中間	・評論「世間話はなぜするのか」 ・評論「語感トレーニング」 ・「スピーチ・ディベート」	・筆者の主張を理解し、世間話や挨拶の意味を考える。 ・日本語の変遷を知り、現代日本語の特性を理解する。 ・自身の考えを他者にわかりやすく伝え、発表や表現の力を養う。			
	期末	・評論「コインは円形か」 ・評論「科学と非科学」 ・「論読現代文1」	・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。 ・「科学」と「非科学」との違いを理解し、「科学的な姿勢」について考える。			
3 学 期	学年末	・評論「『差』という情報」 ・評論「『わらしべ長者』の経済学」 ・「討議・プレゼンテーション」 ・「論読現代文1」	・「差」という観点から展開される筆者の思考を読み取る。 ・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。 ※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	藤井千栄子・龍田順一
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材等	浜島書店「常用漢字の2×3 漢検対応(5~2級)」「論読現代文1」「常用国語便覧」		
授業のねらい	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
学習上の留意点	予習3:復習7の割合で家庭学習に取り組むこと。予習は語彙学習を中心に行うこと。復習は授業内容を自分で復元できるようにすること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	現代文法の復習・評論の読み方 文章構造を理解する・指示語 評論「目指す世界の地図を作る」 評論「時間とは何か」		文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解させる。		
	期末	「対比」に注意・接続語 評論「水の東西」 評論「世間話はなぜするか」 写真を文章で説明する		主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。 説明や表現の仕方を理解させる。		
2 学 期	中間	評論「里山物語」 非言語コミュニケーション 評論「語感トレーニング」 広告コピーを書く		対比について理解し、文章を読み進められるようにする。 非言語コミュニケーションを通じ、「言語」とは何か考えさせる。 話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 自分の考えを相手に伝えられるようにする。		
	期末	評論「コインは円形か」 外来語 評論「科学と非科学」 要約する		各々の言葉の働きの違いを理解し、適切に運用させる。 書き手の考えを比較し、自分とは違う他者の考えを受け入れつつ、他者の考えを正確に理解させる。 他さの考えを自分なりにまとめ直しができるようにさせる。		
3 学 期	学年末	評論「『差』という情報」 評論「わらしべ長者の経済学」 論読現代文1		根拠を見つけ出し、それを表現できるようにさせる。 経済学への理解を通じ、未知の分野の語彙を増やさせる。 実践的な力を身につけさせる。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		国語	言語文化	必修	3単位	植木智
教科書	数研出版「新編 言語文化」		副教材	いいすな「key&Pointみるみる見える古文単語300+敬語30」京都書房「新修古典文法二訂版」「新修古典文法二訂版ドリル編」浜島「常用国語便覧」		
授業のねらい	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解する。・古典(古文・漢文)に親しみ、歴史的・文化的背景を学び、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	中間	・古文「児のそら寝」 ・古文「検非違使忠明」 ・古典文法(動詞・形容詞)		・音読を通じて古文になれ、登場人物の行動や心情を理解する。※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う ・発音や書き込みを繰り返して、動詞と形容詞の活用を理解する。		
	期末	・小説「羅生門」 ・古文「高名の木登り」 ・古文「ある人、弓射ることを習ふに」 ・古典文法(形容動詞)		・作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して味わい、主題について考える。 ・古文単語や文法事項をもとに現代語訳を行う。 ・随筆を学び、ものの見方や感じ方・考え方を豊かにする。		
2 学 期	中間	・古文「芥川」 ・古文「筒井筒」 ・古典文法(助動詞)		・主語を正確に把握し、現代語訳をして内容を理解する。 ・和歌の果たす役割や効果について理解し、物語を味わう。 ・助動詞の活用や意味を理解する。		
	期末	・小説「葉桜と魔笛」 ・詩歌「六月」「サーカス」「短歌」 「俳句」 ・漢文「訓読のきまり」「格言」		・物語の内容を理解し、題名に込められた意味を考える。 ・詩歌を味わい、表現の特徴や季語を理解する。 ・漢文を読むための決まりを理解し、書き下し文を作成する。		
3 学 期	学年末	・漢文「助長」「漁夫の利」「虎の威を借る狐」「管鮑の交わり」 ・漢詩「中国の漢詩」「日本の漢詩」 ・古文「木曾の最期」		・書き下し文や現代語訳を行い、内容を理解する。 ・漢詩の決まりや特徴を理解し、作品を味わう。 ・和漢混交文や音便が多用された文章になれ、内容を理解する。 ※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		国語	言語文化	必修	3単位	保坂征範・柳井雅人
教科書	数研出版「新編 言語文化」		副教材	いいすな「key&Pointみるみる見える古文単語300+敬語30」京都書房「新修古典文法二訂版」「新修古典文法二訂版ドリル編」浜島「常用国語便覧」		
授業のねらい	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解する。・古典(古文・漢文)に親しみ、歴史的・文化的背景を学び、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	中間	・古文「児のそら寝」 ・古文「検非違使忠明」 ・古典文法(動詞・形容詞)	・音読を通じて古文になれ、登場人物の行動や心情を理解する。※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う ・発音や書き込みを繰り返して、動詞と形容詞の活用を理解する。			
	期末	・小説「羅生門」 ・古文「高名の木登り」 ・古文「ある人、弓射ることを習ふに」 ・古典文法(形容動詞)	・作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して味わい、主題について考える。 ・古文単語や文法事項をもとに現代語訳を行う。 ・随筆を学び、ものの見方や感じ方・考え方を豊かにする。			
2 学 期	中間	・古文「芥川」 ・古文「筒井筒」 ・古典文法(助動詞)	・主語を正確に把握し、現代語訳をして内容を理解する。 ・和歌の果たす役割や効果について理解し、物語を味わう。 ・助動詞の活用や意味を理解する。			
	期末	・小説「葉桜と魔笛」 ・詩歌「六月」「サーカス」「短歌」 「俳句」 ・漢文「訓読のきまり」「格言」	・物語の内容を理解し、題名に込められた意味を考える。 ・詩歌を味わい、表現の特徴や季語を理解する。 ・漢文を読むための決まりを理解し、書き下し文を作成する。			
3 学 期	学年末	・漢文「助長」「漁夫の利」「虎の威を借る狐」「管鮑の交わり」 ・漢詩「中国の漢詩」「日本の漢詩」 ・古文「木曾の最期」	・書き下し文や現代語訳を行い、内容を理解する。 ・漢詩の決まりや特徴を理解し、作品を味わう。 ・和漢混交文や音便が多用された文章になれ、内容を理解する。 ※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		国語	言語文化	必修	3単位	保坂征範・佐藤祐紀
教科書	数研「新編 言語文化」		副教材等	京都書房「新修古典文法二訂版/ドリル」 いづな書店「みるみる覚える古文単語」		
授業のねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。 ・論理的に考える力や深く共感・想像する力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めると共に言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 				
学習上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な読み書きから正しい漢字の書き方など学習の根幹であることを理解する。 ・授業態度、提出状況、臨む姿勢を自らが高める意識を持つこと。 				
評価方法		定期考査や授業内テストを中心として小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「児のそら寝」 ・古文「検非違使忠明」 		<ul style="list-style-type: none"> ・古文を読むための基礎知識を理解する。 ・音読を通して古文に慣れ人物の行動や心情を理解する。 ・単語の意味を知り主語や助詞などを補い現代語訳を行う。 ・人々がこの話を語り伝えた理由を考える。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「高名の木登り」 ・古文「ある人、弓射ること」 		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物や動作主を確認しながら現代語訳を行う。 ・話の内容を把握し「聖人の戒め」の内容を具体的に捉える。 ・漢文調の表現や修辞法を押さえながら現代語訳を行う。 ・具体例から自戒を含む主張へと繋がる展開を理解する。 		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「芥川」 ・古文「筒井筒」 		<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の特徴と『伊勢物語』の教材について理解する。 ・在原業平の人物像について本文を踏まえて理解する。 ・単語や文法に注意して的確に読み取り現代語訳を行う。 ・辞書や文法テキストを調べて贈答歌の意味を解釈する。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文「格言」 ・漢文「論語」 ・漢文「助長」 		<ul style="list-style-type: none"> ・訓読の基本を理解し書き下し文のきまりを身に付ける。 ・「論語」の成立過程と孔子の主張や生き方を学ぶ。 ・作品や文章の成立した背景を踏まえ寓話の内容を理解する。 ・比喩表現から風刺を読み取り筆者の主張を理解する。 		
3 学 期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「羅生門」 		<ul style="list-style-type: none"> ・小説の特性を理解して評論との違いを明確に意識する。 ・作品の舞台設定を読み取り主人公の人物像を把握する。 ・文章の構成や展開を把握し心情の変化を読み取る。 ・下人の心理の変化を捉え作品の主題について考察する。 		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースIクラス		国語	論理国語	必修	3単位	渡辺智之
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「論読現代文2」いいすな書店「大学入試国語頻出問題1200」第一学習社「漢字マイスター頻出漢字熟語3000」浜島書店「常用国語便覧」		
授業のねらい	・「現代が抱えるテーマと問題」が提示された文章を読解し、その問いに向き合い、考える。・演習形式の授業を通して問題を解くことに慣れ、入試に対応できる力を養う。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・世界・言葉・私 「対話の精神」 ・芸術と文化 「ミロのヴィーナス」		・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。 ・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。		
	期末	・共同体のいま 「コミュニティから見た日本」 ・科学の可能性 「自己をモデル化する知能」		・模試の対策を行う。 ・漢字や語彙を習得する。 ・夏期休業中の課題あり ※上記は学期や年度を通して行う。		
2 学 期	中間	・日本語の多様性 「『方言コスプレ』現象」 ・思考の枠組み 「スキーマと記憶」		・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。 ・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。		
	期末	「絵を見る技術」 ・社会の原点 「社会的実在としての言語・法・貨幣」		・模試の対策を行う。 ・漢字や語彙を習得する。 ・冬期休業中の課題あり ※上記は学期や年度を通して行う。		
3 学 期	学年末	・グローバル化の先へ 「心に『海』を持って」 「世界は、いま—『多文化世界』の構築」		※1・2学期と同様 ※年度を通じて、多読を实践する。また、テーマや問いに対する意見や思考内容を明文化する。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス		国語	論理国語	必修	3単位	渡辺智之
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「論読現代文2」いいすな書店「大学入試国語頻出問題1200」第一学習社「漢字マイスター頻出漢字熟語3000」浜島書店「常用国語便覧」		
授業のねらい	・「現代が抱えるテーマと問題」が提示された文章を読解し、その問いに向き合い、考える。・演習形式の授業を通して問題を解くことに慣れ、入試に対応できる力を養う。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・世界・言葉・私 「対話の精神」 ・芸術と文化 「ミロのヴィーナス」		・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。 ・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。		
	期末	・共同体のいま 「コミュニティから見た日本」 ・科学の可能性 「自己をモデル化する知能」		・模試の対策を行う。 ・漢字や語彙を習得する。 ・夏期休業中の課題あり ※上記は学期や年度を通して行う。		
2 学 期	中間	・日本語の多様性 「『方言コスプレ』現象」 ・思考の枠組み 「スキーマと記憶」		・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。 ・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。		
	期末	「絵を見る技術」 ・社会の原点 「社会的実在としての言語・法・貨幣」		・模試の対策を行う。 ・漢字や語彙を習得する。 ・冬期休業中の課題あり ※上記は学期や年度を通して行う。		
3 学 期	学年末	・グローバル化の先へ 「心に『海』を持って」 「世界は、いま—『多文化世界』の構築」		※1・2学期と同様 ※年度を通じて、多読を实践する。また、テーマや問いに対する意見や思考内容を明文化する。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	論理国語	必修	3単位	鬼嶋知見・柳井雅人・田中逸男
教科書	大修館「論理国語」		副教材等	いわずな「現代文単語 げんたん」		
授業のねらい	教材を通して、筆者の主張を正確に読み取る「内容把握」のほか、より論理的に文章を考察したり、テーマに関する「問い」について自ら考え、表現したりする。「読むこと」と「書くこと」を往還しながら、自分の考えを深める。					
学習上の留意点	言語知識を増やすとともに、各テーマにおける問いを自分事として捉え考え、表現する。授業への取り組みは主体的なものではなくてはならない。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界を広げる「批評」の言葉」 ・「対話の精神」 ・言葉を定義する 		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる ・対比や比喩による表現を手掛かりに、論の展開をとらえる ・現代日本における問題について自分の考えを持つ ・身近な言葉を他者に伝わるように定義する 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミロのヴィーナス」 ・具体的/抽象的に書く ・「家族化するペット」 ・統計資料から分析したことを書く 		<ul style="list-style-type: none"> ・文化や美意識について自分の考えを持つ ・自分の言いたいことが的確に伝わるように表現する ・統計資料や事例と筆者の主張の関係をとらえる ・資料から読み取ったことを正確に書き、自分の考えと区別する 		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己をモデル化する知能」 ・「人口知能の可能性と畏」 ・他者の意見を的確に理解し要約する ・自分の立場を明確にして意見を述べ 		<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開や具体例をもとに、筆者の主張をとらえる ・科学技術の進歩と人間にかかわりについて考える ・主張と根拠をとらえ、的確に要約する ・賛否などの立場を明確にし、その根拠を示す 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・「敬語への自覚、他者への自覚」 ・「デジタル地図から見える世界」 ・情報を集めて分類する 		<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開や対比をもとに、筆者の主張をとらえる ・言葉と社会の関係や社会の喧嘩について、考えを深める ・情報源を適切に記録し、集めた情報を整理・分類する 		
3 学 期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的実在としての言語・法・貨幣」 ・「分かち合う社会」 ・「世界は、いま」 ・「グローバリゼーション文化」 ・意見を交流する 		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的エピソード、学説の紹介の意図を理解し、論の展開を手がかりに、筆者の主張を読み取る。 ・小見出しごとの要旨を理解したり、具体例や対比を的確にとらえたりしながら、筆者の主張をつかむ ・社会のさまざまな事柄に対する考えを表現し、他者との交流(意見交換、指摘)を通して、掘り下げる 		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースIクラス		国語	古典探究	必修	3単位	渡辺智之
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	桐原書店「解析古典文法／準拠の演習ノート」 いずな書店「みるみる覚える古文単語」 「大学入試国語頻出問題1200」 浜島書店「常用国語便覧」		
授業のねらい	・古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。 ・古典に親しむことで、ものの見方や考え方を広げる。 ・日本文化について、古代と現代とのつながりを考える(古典常識も含む)。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。 ・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・説話「十訓抄／大江山」 ・歌物語「伊勢物語／初冠／渚の院」 ・故事「漱石沈流」		・古文単語や文法事項(助動詞など)を確認して、内容を理解する。 ・和歌の修辞法を学び、詠み込まれた思いを味わう。 ・書き下し文を作成し、内容を理解する。		
	期末	・歌物語「大和物語／鳥飼の院」 ・随筆「枕草子／大納言殿参り給ひて」 ・漢詩		・敬語の種類と敬意の対象を理解する。 ・漢詩の決まり(押韻など)を学び、背景も含めて作品を味わう。 ※上記と模試対策を、学期や年度を通して行う。		
2 学 期	中間	・歴史物語「大鏡／三船の才」 南の院の競射」 ・史伝「史記／四面楚歌」		・古文単語や文法事項(助動詞など)を確認して、内容を理解する。 ・和歌の修辞法を学び、詠み込まれた思いを味わう。 ・書き下し文を作成し、内容を理解する。		
	期末	・物語「源氏物語／小柴垣のもと」 ・荘子「夢為胡蝶」		・敬語の種類と敬意の対象を理解する。 ・作品の寓意性や、そこに込められた思いを読み取る。 ※上記は学期や年度を通して行う。		
3 学 期	学年末	・和歌・歌謡・俳諧「古今和歌集 仮名序／やまと歌は／六歌仙」 ・文章「桃花源記」		※1・2学期と同様 ・歌論としての意義や人物評を読み取る。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス文系		国語	古典探究	必修	3単位	渡辺智之
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	桐原書店「解析古典文法／準拠の演習ノート」 いずな書店「みるみる覚える古文単語」 「大学入試国語頻出問題1200」 浜島書店「常用国語便覧」		
授業のねらい	・古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。 ・古典に親しむことで、ものの見方や考え方を広げる。 ・日本文化について、古代と現代とのつながりを考える(古典常識も含む)。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。 ・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・説話「十訓抄／大江山」 ・歌物語「伊勢物語／初冠／渚の院」 ・故事「漱石沈流」		・古文単語や文法事項(助動詞など)を確認して、内容を理解する。 ・和歌の修辞法を学び、詠み込まれた思いを味わう。 ・書き下し文を作成し、内容を理解する。		
	期末	・歌物語「大和物語／鳥飼の院」 ・随筆「枕草子／大納言殿参り給ひて」 ・漢詩		・敬語の種類と敬意の対象を理解する。 ・漢詩の決まり(押韻など)を学び、背景も含めて作品を味わう。 ※上記と模試対策を、学期や年度を通して行う。		
2 学 期	中間	・歴史物語「大鏡／三船の才」 南の院の競射」 ・史伝「史記／四面楚歌」		・古文単語や文法事項(助動詞など)を確認して、内容を理解する。 ・和歌の修辞法を学び、詠み込まれた思いを味わう。 ・書き下し文を作成し、内容を理解する。		
	期末	・物語「源氏物語／小柴垣のもと」 ・荘子「夢為胡蝶」		・敬語の種類と敬意の対象を理解する。 ・作品の寓意性や、そこに込められた思いを読み取る。 ※上記は学期や年度を通して行う。		
3 学 期	学年末	・和歌・歌謡・俳諧「古今和歌集 仮名序／やまと歌は／六歌仙」 ・文章「桃花源記」		※1・2学期と同様 ・歌論としての意義や人物評を読み取る。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース Sクラス理系		国語	古典探究	必修	2単位	鬼嶋知見
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	桐原書店「解析古典文法／準拠の演習ノート」 いずな書店「みるみる覚える古文単語」 大学入試国語頻出問題1200 浜島書店「常用国語便覧」		
授業のねらい	古典作品には、現代の日本語とは異なる文法や語彙が多く使用されている。そのため、古文や漢文の文法・語彙の知識を活用し、文法や表現、言葉の意味や使い方を正確に理解することをねらいとする。					
学習上の留意点	授業用ノートをしっかりと作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「大江山」 古文「初冠」 漢文「買履忘度」 漢文「漱石枕流」		・既習文法の確認(動詞・形容詞・形容動詞)。 ・単語や文法事項に注意して、正確に読み取り、現代語訳を行う。 ・既習句法の確認(再読文字・訓読点)。		
	期末	古文「春はあけぼの」 「すさまじきもの」 古文「ゆく河の流れ」 「養和の飢饉」		・敬語、助動詞、助詞について学ぶ。 夏期休業中課題を出す。		
2 学 期	中間	古文「東路の道の果て」 漢文「鴻門之会」		・古文文法、漢文句法の確認。 ・自ら書き下し文や現代語訳の作成を行い、文章の内容を的確に読み取る。		
	期末	古文「桐壺」 古文「小柴垣のもと」		・古典作品の文化的背景を理解する。 ・登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、文章全体を把握する。 冬期休業中課題を出す。		
3 学 期	学年末	漢文「鹿柴」「飲酒」「尋胡隱君」 「江南春」「黄鶴楼」		・代表的な漢詩を取り上げて鑑賞する。 詩人の生涯・背景、詩のテーマ・メッセージを理解する。 表現方法・技法の習得、韻律・格律の守り方を学ぶ。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス 文系		国語	古典探究	必修	3単位	渡辺智之・鬼嶋知見・河野秀夫
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	桐原書店「解析古典文法三訂版」		
授業のねらい	古典作品には、現代の日本語とは異なる文法や語彙が多く使用されている。そのため、古文や漢文の文法・語彙の知識を活用し、文法や表現、言葉の意味や使い方を正確に理解することをねらいとする。					
学習上の留意点	授業用ノートをしっかり作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「大江山」		・古文の基本的な文法や語彙を学習する。		
		古文「初冠」		・単語や文法事項に注意して、正確に読み取り、現代語訳を行う。		
1 学 期	期末	漢文「買履忘度」		・漢文の基本的な文法や語彙を学習する。		
		漢文「漱石枕流」		・漢文の読み方について、より実践的な学習をする。		
1 学 期	期末	古文「春はあけぼの」		・敬語、助動詞、助詞について学ぶ。		
		「すさまじきもの」		・作品中の文法や表現、言葉の意味や使い方を解釈し、全体像をつかみとる。		
2 学 期	中間	古文「ゆく河の流れ」				
		「養和の飢饉」				
2 学 期	中間	古文「東路の道の果て」		・古文文法、漢文句法の確認。		
		漢文「鴻門之会」		・自ら書き下し文や現代語訳の作成を行い、文章の内容を的確に読み取る。		
2 学 期	期末	古文「桐壺」		・古典作品の文化的背景を理解する。		
		古文「小柴垣のもと」		・登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、文章全体を把握する。		
3 学 期	学年末	漢文「鹿柴」「飲酒」「尋胡隱君」		・代表的な漢詩を取り上げて鑑賞する。		
3 学 期	学年末	「江南春」「黄鶴楼」		詩人の生涯・背景、詩のテーマ・メッセージを理解する。 表現方法・技法の習得、韻律・格律の守り方を学ぶ。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス 理系		国語	古典探究	必修	2単位	此木淳一
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	桐原書店「解析古典文法三訂版」		
授業のねらい	古典作品には、現代の日本語とは異なる文法や語彙が多く使用されている。そのため、古文や漢文の文法・語彙の知識を活用し、文法や表現、言葉の意味や使い方を正確に理解することをねらいとする。					
学習上の留意点	授業用ノートをしっかり作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「大江山」 漢文「漱石枕流」	<ul style="list-style-type: none"> 古文の基本的な文法や語彙を学習する。 漢文の基本的な文法や語彙を学習する。 			
	期末	古文「春はあけぼの」 古文「ゆく河の流れ」	<ul style="list-style-type: none"> 敬語、助動詞、助詞について学ぶ。 作品中の文法や表現、言葉の意味や使い方を解釈し、全体像をつかみとる。 			
2 学 期	中間	古文「東路の道の果て」 漢文「鴻門之会」	<ul style="list-style-type: none"> 古文文法、漢文句法の確認。 自ら書き下し文や現代語訳の作成を行い、文章の内容を的確に読み取る。 			
	期末	古文「桐壺」 古文「小柴垣のもと」	<ul style="list-style-type: none"> 古典作品の文化的背景を理解する。 登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、文章全体を把握する。 			
3 学 期	学年末	漢文「鹿柴」「飲酒」「尋胡隱君」 「江南春」「黄鶴楼」	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な漢詩を取り上げて鑑賞する。 詩人の生涯・背景、詩のテーマ・メッセージを理解する。 			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	国語力養成講座	選択	2単位	保坂征範
教科書			副教材等	漢検協会「文章カステップ3級」		
授業のねらい	語彙力強化、文章読解、文章作成等、総合的な国語力を養成する。					
学習上の留意点	その他、必要に応じてプリントを配布する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	語意・文法① 資料分析①	語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。 簡易なグラフの読み取りを行う。			
	期末	資料分析② 語意・文法②	文章とデータおよび筆者の主張を読み取れるようにする。 語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。			
2 学 期	中間	文章読解 手紙文	言い換えや指示内容を正しく捉える。 適切な表現・表記を理解する。 敬語のただし使い方を身につける。			
	期末	意見文 語意・文法③	事実・意見・感想の区別、理解及び意見文を書けるようにする。 語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。			
3 学 期	学年末	まとめ	文章検定3級取得を目指した総合演習を行う。			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	文章読解演習	選択	2単位	小池功一郎
教科書	特になし		副教材等	特になし		
授業のねらい	多くの読解問題に触れ、大学入試に直結する実戦的な力を養成する。					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを配布する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で多くの文章を読解する。 評論Ⅰ		漢字・語彙の定着を図りつつ、多くの文章に触れる。 指示内容を確実に捉える。 接続語を意識する。		
	期末	小説		登場人物の心情や思想を理解する。 場面展開を読み取る。 小説独特の表現を味わう。		
2 学 期	中間	評論Ⅱ		筆者の主張や文章の構成を確実に理解する。 文章内容をもとに、自ら意見を文章化する。		
	期末	韻文		詩・短歌・俳句の鑑賞 創作活動をし、相互に鑑賞し合う		
3 学 期	学年末	大学入試問題読解		1・2学期の学びをもととして基礎的な大学入試問題に触れ、実戦的な力を養う。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		国語	現代文B	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「現代文 改訂版 下巻」		副教材等	浜島「論読現代文3」 第一学習社「漢字マイスター3000」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・評論では、筆者の主張や文章の構成を理解する。・小説では、登場人物の心情や思想を読み解く。 ・以上に加え、語彙力の強化や知識事項の理解も深めながら入試に通用する実戦力を高める。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 評論「文明と文化の教育」		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ※通年で、模擬試験や入学試験の対策をしていく。 		
	期末	評論「生物多様性の恩恵」 評論「猫は後悔するか」		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 		
2 学 期	中間	評論「風景はどのように立ち現れるか」 問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、迅速な文章理解のできる力を養う。 		
	期末	評論「無常ということ」 問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、入試に必要な力を身につける。 		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	現代文B	必修	3単位	小池功一郎・武井智巳・柳井雅人・菅沢茂
教科書	東京書籍「精選 現代文B」		副教材等	いいずな書店「現代文単語」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自己と社会との関係を考える文章を中心に、近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 筆者の主張や考え方・感じ方を的確に読み取り、自己表現力を高める。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論「文学の未来」 評論「言語と記号」		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を意識して文章を精読する。 筆者の主張・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 論理的な展開を的確に読み取り、読解を丁寧に行う。 他者の生き方を参考に、自身の生き方を見つめる。 		
	期末	評論「環境問題と孤立した個人」		<ul style="list-style-type: none"> SDGsとからめ、社会への視野を広げる契機とする。 授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 漢字・語句の小テストに備え、自宅学習を行う。 自分の思いや考えをまとめ、感想文・意見文を書く。 定期試験で内容の理解度を確認する。 		
2 学 期	中間	評論「鏡の中の現代社会」 評論「社会の壊れる時」		<ul style="list-style-type: none"> 受験頻出のテーマを理解する。 受験に対応できる読解力を身に付け、演習を行う。 文章の構成を意識して読解を行う。 筆者の主張・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 漢字・語句の小テストに備え、自宅学習を行う。 自分の思いや考えをまとめ、感想文・意見文を書く。 文章の内容を理解し、適切に要約する。 定期試験で内容の理解度を確認する。 		
	期末	評論「サッカーにおける『資本主義の精神』」		<ul style="list-style-type: none"> 受験頻出のテーマを理解する。 受験に対応できる読解力を身に付け、演習を行う。 文章の構成を意識して読解を行う。 筆者の主張・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 漢字・語句の小テストに備え、自宅学習を行う。 自分の思いや考えをまとめ、感想文・意見文を書く。 文章の内容を理解し、適切に要約する。 定期試験で内容の理解度を確認する。 		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		国語	古典B	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	東京書籍「精選古典B 新版」		副教材等	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」「いはずな」大学入試 国語頻出問題1200」口		
授業のねらい	・古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。					
学習上の留意点	・板書だけでなく、教員が話したことも積極的にメモを取ること。 ・毎回小テストを行う。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	源氏物語の概要 若紫(源氏物語・若紫)		我が国最高峰の古典文学に触れ、伝統的な価値観や感情表現を知る。人物関係や敬語の理解を深める。 和歌の知識も習得する。		
	期末	萩の上露(源氏物語・御法) ものあはれ論(源氏物語玉の小櫛)		家族のあり方や死を見つめ、生きることの価値を理解する。源氏物語が後世の人にどう読まれたかを知り、日本人としてのアイデンティティについて考える。		
2 学 期	中間	先従隗始・不死之薬・漱石枕流 文学史①(上代・中古)		故事成語となった漢文を理解し、日本人にどのような影響を与えてきたかを考える。 入試問題にも触れ、実戦力を養う。		
	期末	赤壁之戦(十八史略) 出師表「(十八史略) 文学史②(中世以降)		登場人物の心情や行動・考え方に触れながら人間の生き方を考える。 入試問題にも触れ、実戦力を養う。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース Aクラス文系		国語	古典B	必修	3単位	此木淳一・上田淳子
教科書	東京書籍「精選古典B 新版」		副教材等	「解析古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 古文を読む力を養うと共に、歴史や文化に親しみ人生を豊かにする態度を養う。 読解をするために基本的な文法から現代語訳に結び付ける語句の理解を深める。 					
学習上の留意点	授業用のノートを作成し、重要な部分など全体の説明以外に自身でも必要な部分を抜粋しまとめること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心に、提出物や発言などを踏まえて総合的に判断する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「源氏物語 車争い」		光源氏のその後を追い、文化や人の思いを学ぶ		
		漢文「李白と杜甫」		古き時代の考えを学び、人生に生かす		
	期末	漢文「赤壁之戦」		歴史を学ぶとともに、偉人の考えを知る		
		古文「紫式部日記」		当時の人の思いを学び、作者側の視点を学ぶ		
2 学 期	中間	古文「源氏物語 萩の上露」		人の死に立ち会う心情を学び、現代と通ずる部分を学ぶ		
		漢文「諸子百家」		様々な考えを学び、生きる力に変換する		
	期末	古文「和泉式部日記」		当時の人々がどのような価値観を持って生活していたかを学ぶ		
		漢文「儒家と道家」		私達の考え方の根幹に立ち返り、その理由を学ぶ		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		国語	国語表現	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「国語表現 改訂版」		副教材	特になし		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める ・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は期限内に必ず提出すること。 					
評価方法	授業内テストを中心とし、発表や小テストや創作物・提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	書いて伝える 小論文・レポート入門		自己表現の手段として、正しい言葉遣いや文法事項を学ぶ。 小論文やレポートの形式を学び、論理的な構成によって読み手が理解しやすい文章を作成する。		
	期末	自己PRと面接 メディアを駆使する		大学入試を意識し、志望理由書や面接の対策となる自己分析を行う。また、それをもとに面接を行う。 大学入試における情報収集やインターネット出願を踏まえ、PCなどのメディアを活用する。		
2 学 期	中間	声とコミュニケーション 会話・議論・発表		1学期に行った自己分析をもとに、発声の仕方や抑揚などを学ぶことで、自己表現に慣れる。 課題解決能力を向上させるとともに、スピーチ能力の向上も図る。		
	期末	表現を楽しむ 文章表現		言葉や詩歌の面白さを知り、豊かな表現力を身につける。 自己の考えを的確にかつ説得力をもって相手に伝えることのできる力を身につける。		
3 学 期	学年末			※Iクラスなので、適宜英語を用いた活動も織り交ぜる。 ※通年で語彙力の向上を図っていく。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		国語	国語演習	必修	4単位	植木智
教科書	特になし		副教材等	いいずな書店「大学入試国語頻出問題1200」		
授業のねらい	問題演習を重ね、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法)については、繰り返し学習して定着を図る。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論(論理的文章) ・小説(文学的文章) 		<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストを意識した演習を行う。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。 ・登場人物の心情や思想を理解する。 ・漢字や語彙の定着を図る。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・古文 ・漢文 		<ul style="list-style-type: none"> ・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)を押さえる。 ・人物像を読み取り、行動や心情を考える。 ・文法事項(再読文字・句形)を理解し、文章の内容を読み取る。 		
2 学 期	中間			<ul style="list-style-type: none"> ※上記の内容を、学期・年間を通じて演習する。 ※模試や入試の過去問を中心に扱う。 		
	期末					
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		国語	国語演習	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	特になし		副教材等	これまで授業で使用してきた現代文・古典での参考図書		
授業のねらい	多くのジャンルにトライし、読解の方法を定着させ、限られた時間で問題を解く力を養成する					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習(漢字・語彙・文法)は日々行い、初めて見る文章に対応できるようにすること ・家庭学習で解答してきた状態で解説を行う場合は事前に課題を終えておくこと 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心に、提出物や発言などを踏まえて総合的に判断する。					
学習計画	考査	単元	学習目標			
1 学 期	中間	通年で評論・小説・古文・漢文の演習 評論	重要なワードからどういった趣旨の話に結び付いてくるか(テーマとして理解する)を理解して、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。			
	期末	小説	時代によって理解しておかなければならない文化や歴史を学び、登場人物の心情を理解できるようにする。幅広く語句の理解を進め、評論にも生きるようにする。			
2 学 期	中間	古文	基本的な文法から発展し、初見の文章にも応用できるようにする。また、頻出する単語の理解を定着させ、助動詞では接続から判別した後に現代語訳に結び付けるようにする。			
	期末	漢文	基本的な訓読は勿論のこと、語句の理解と句形を押さえる。以上の事を反復し、最終的には読む速度を上げていく。 ※それぞれの分野を模試や入試の過去問題を利用して演習す			
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス理系		国語	国語演習	必修選択	2単位	龍田順一
教科書	特になし		副教材等	これまで授業で使用してきた現代文・古典での参考図書		
授業のねらい	多くのジャンルにトライし、読解の方法を定着させ、限られた時間で問題を解く力を養成する					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習(漢字・語彙・文法)は日々行い、初めて見る文章に対応できるようにすること ・家庭学習で解答してきた状態で解説を行う場合は事前に課題を終えておくこと 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心に、提出物や発言などを踏まえて総合的に判断する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で評論・小説・古文・漢文の演習 評論		重要なワードからどういった趣旨の話に結び付いてくるか(テーマとして理解する)を理解して、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。		
	期末	小説		時代によって理解しておかなければならない文化や歴史を学び、登場人物の心情を理解できるようにする。幅広く語句の理解を進め、評論にも生きるようにする。		
2 学 期	中間	古文		基本的な文法から発展し、初見の文章にも応用できるようにする。また、頻出する単語の理解を定着させ、助動詞では接続から判別した後に現代語訳に結び付けるようにする。		
	期末	漢文		基本的な訓読は勿論のこと、語句の理解と句形を押さえる。以上の事を反復し、最終的には読む速度を上げていく。 ※それぞれの分野を模試や入試の過去問題を利用して演習す		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス文系		国語	国語演習	必修	3単位	武井智巳・藤井千栄子・ 上田淳子・菅沢茂
教科書	特になし		副教材等	漢検協会「文章カステップ準2級」・浜島書店「LT現代文1」・いいずな書店「現代文単語 げんたん」 ※前年度購入済		
授業のねらい	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。					
学習上の留意点	自分の考えを持明確に持つこと。添削のため、課題の期限は厳守すること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元	学習目標			
1 学 期	中間	「文章カステップ」第一章、第二章 「論読現代文」大問1～5 げんたん第一章 自己表現課題	論理的に考える力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 自己を表現する方法を学び、文章で示すことができるようにする。			
	期末	「文章カステップ」第三章、第四章 「論読現代文」大問6～10 げんたん第二章 話し言葉・書き言葉・敬語の演習	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができるようにする。			
2 学 期	中間	「論読現代文」大問11～15 自己表現課題 げんたん第三章	自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 大学の志望理由や高校生活などについて、他者に正確に伝わるように文章を書いたり、スピーチをしたりすることができるようにする。			
	期末	「論読現代文」大問16～20 手紙文・時候の挨拶等	読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができるようにする。			
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス理系		国語	国語演習	必修選択	2単位	小池功一郎・佐藤祐紀
教科書	特になし		副教材等	漢検協会「文章カステップ準2級」・浜島書店「LT現代文1」・いっぴいな書店「現代文単語 げんたん」 ※前年度購入済		
授業のねらい	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。					
学習上の留意点	自分の考えを持明確に持つこと。添削のため、課題の期限は厳守すること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	「文章カステップ」第一章、第二章 「論読現代文」大問1～3 げんたん第一章(半分くらい) 自己表現課題		論理的に考える力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 自己を表現する方法を学び、文章で示すことができるようにする。		
	期末	「文章カステップ」第三章、第四章 「論読現代文」大問4～6 げんたん第一章(残りの部分) 話し言葉・書き言葉・敬語の演習		話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができるようにする。		
2 学 期	中間	「論読現代文」大問7～10 自己表現課題 げんたん第二章(半分くらい)		自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 大学の志望理由や高校生活などについて、他者に正確に伝わるように文章を書いたり、スピーチをしたりすることができるようにする。		
	期末	「論読現代文」大問11～13 手紙文・時候の挨拶等 げんたん第二章(残りの部分)		読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができるようにする。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		国語	受験国語	選択	2単位	龍田順一
教科書	特になし		副教材等	大学入試問題過去問		
授業のねらい	・大学入試で求められる国語力の養成を通して本番に向けた実践力を身に付ける。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	授業内テストを中心として小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の読解 ・小説の読解 ・現代文の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試で求められる論理的思考力を養成する。 ・小説の基本的読解法を身に付ける。 ・漢字や語彙など国語の基礎学力を身に付ける。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・古文 ・古文文法 ・漢文 		<ul style="list-style-type: none"> ・古文の読解を通して入試に必要な基本知識を身に付ける。 ・古文単語の習得や文法を身に付ける。 ・基本句形・重要単語の習得を通して読解の基礎を作る。 		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習 ・古典文法 		<ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文の様々なジャンルの文章を読み、国語の実力を総合的に身に付ける。 ・読解に必要な重要単語や文法を身に付ける。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問演習 ・現代用語の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の過去問演習を通して出題傾向を把握して、入試対応力を身に付ける。 ・入試に必要な基礎知識を身に付け、読解力を強化する。 		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	総合型選抜対策・国語	選択	2単位	鬼嶋知見
教科書	特になし		副教材等	大学入試問題過去問		
授業のねらい	総合型選抜における学科試験で合格できる力を育成する。					
学習上の留意点	多くの問題に触れられるように教員の指示に従い家庭学習も積極的に行うこと。					
評価方法	授業内テストを中心として小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の読解 ・現代文の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試で必要とされる基礎学力を養成する。 ・論理的思考力を身に付ける。 ・漢字や語彙など国語の基礎学力を身に付ける。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読解 ・現代文の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試で必要とされる基礎学力を養成する。 ・小説の基本的読解法を身に付ける。 ・漢字や慣用句など国語の基礎学力を身に付ける。 		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習 ・現代用語の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの文章を読み解く実践力を身に付ける。 ・出題傾向に即した多様な設問形式に対応する。 ・漢字や現代文単語など国語の基礎学力を身に付ける。 		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問演習 ・現代用語の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の過去問演習を通して出題傾向を把握する。 ・合格に必要な解答力を身に付ける。 ・現代文の読解に必要な背景知識を身に付ける。 		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	文学鑑賞	選択	2単位	保坂征範
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	小説、随筆、詩歌などの代表的な文学作品を鑑賞し、そこに描かれた人物の心情や表現を読解する力を養うことを目的とする。また文学作品に共感、豊かに想像することで、創作する力の育成も目指す。					
学習上の留意点	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元	学習目標			
1 学 期	中間	日本文学史概説 文学のジャンル	<ul style="list-style-type: none"> ・万葉集から村上春樹まで、日本の文学の歴史について概略をつかみ「文学とは何か」としっかり定義する。 ・小説、随筆、日記、韻文(俳句・短歌・詩)の違いについて理解する。短文、短詩の創作を行う 			
	期末	小説「舞姫」読解	<ul style="list-style-type: none"> ・人物・情景・心情などを的確に読み取り、表現を味わう。 ・他者の生き方を参考に、自身の生き方を見つめる。 ・文語体の表現を味わい、内容を正確に読み取る。 ・主人公の心理と行動の変化を押さえる。 ・主人公のたどる経過と状況との相関を明らかにする。 ・授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 ・試験で内容の理解度を確認する。 			
2 学 期	中間	表現の技法 文学的な文章を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について、的確に理解し使用する。 ・題材に応じて情報を収集、整理し、表現したいことを明確にする。読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 			
	期末	考えの形成・共有 書評	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、ついて評価したりする ・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする。 			
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	日本語と表現	選択	2単位	此木淳一
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	<p>・漢字・表現力・語彙力を養う。このため、新聞を読んだり、文章を作成したりする。 ・「書くこと」、「読むこと」が中心となるが、「話すこと」、「聞くこと」も含めた言語活動を通し、日本語について広く探究していく。</p>					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを用意する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で以下の内容を学ぶ 漢字の学習 (漢字検定など)		「漢字の読み書き」「対義語・類義語」「同音異義語」 「四字熟語」「誤字訂正」「熟語の構成」		
	期末	「文章作成1」		今までの習得した語彙の確認、文章作成。		
2 学 期	中間	「語彙の獲得」		新たな語彙の獲得や表現方法を学ぶ。 漢字の知識だけでなく、言葉の意味や日本語独特の表現を知る。		
	期末	「文章作成2」		自己でテーマを決め、ある程度まとまった量・内容の文章を作成する。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	実用国語	選択	2単位	武井智巳
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	・自らの考えをまとめる力、表現する力、伝える力を総合的に身につける。					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを用意する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で以下の内容を学ぶ 考えをまとめる		自身の考えを的確にまとめる、伝える力を養う。		
	期末	話し言葉と書き言葉		両者の違いを明確にし、使い分けが正しくできるように演習を行う。		
2 学 期	中間	自己PR作成 敬語		美しい文字、適切な言葉で自己を表現することを狙いとする。 敬語の使い分けを正しく知る		
	期末	まとめ		1・2学期のまとめとして、文章作成やスピーチを行う。		
3 学 期	学年末					